

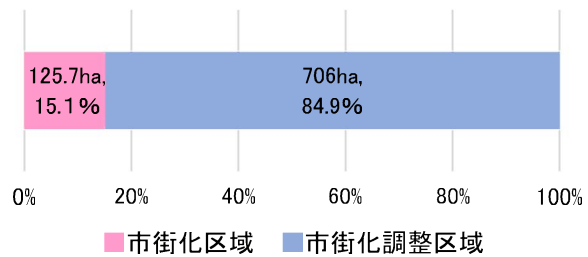
8-3 英比地域のまちづくり構想

(1) 英比地域の現況・特性

① 地域の概況

- ・本地域は、北東部に位置し、半田市と東浦町、知多市、常滑市に隣接しています。
- ・本地域の面積は約 832ha で、そのうち市街化区域が 15.1% (125.7ha) を占めています。
- ・本地域には、広域的な交通拠点として、名鉄河和線巽ヶ丘駅や知多半島道路阿久比インターチェンジが位置しています。

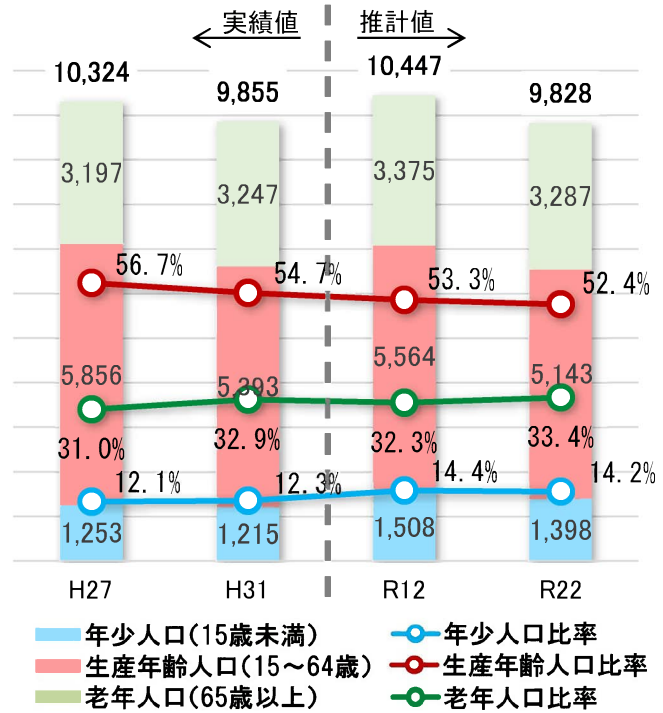
<区域区分の状況(平成 28 年度)>



② 人口動向

- ・本地域の平成 27 年 (2015 年) の人口は 10,324 人となっており、町全体の約 37% に該当します。
- ・令和 22 年 (2040 年) までの人口推移を見ると、今後は人口が減少する見込みです。
- ・平成 27 年 (2015 年) の年少人口比率は 12.1%、生産年齢人口比率は 56.7%、老年人口比率は 31.0% となっており、町内で最も高齢化が進んだ地域となっています。

<人口・世帯数の推移>

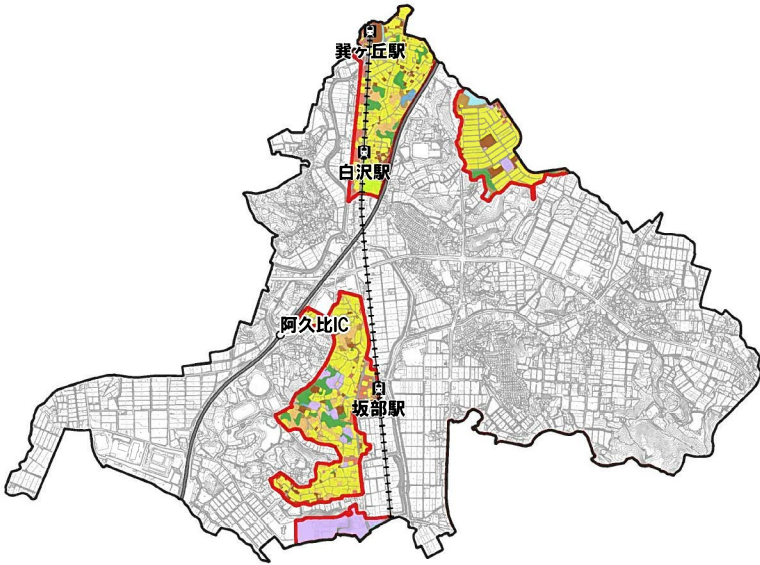


※平成 27 年、令和元年は実績値を採用
 ※令和 12 年、22 年は、平成 27 年度の国勢調査を基にした推計値を採用 (国立社会保障・人口問題研究所)

③ 土地利用の状況

- ・本地域では、坂部駅西・卯坂南部の 2 地区で土地区画整理事業が実施されたほか、高根台などで団地開発が行われ、良好な住宅地が広がっています。
- ・市街化区域内の土地利用は、住宅用地が約 45% を占めています。
- ・地域を南北に縦断する都市計画道路知多東部線の沿道では、商業用地の集積がみられます。
- ・市街化調整区域には、既存集落地や白沢台、福住園高台などの住宅地が立地しているほか、地域西部に中部工業団地が位置しています。

<市街化区域内の土地利用現況(平成30年度)>



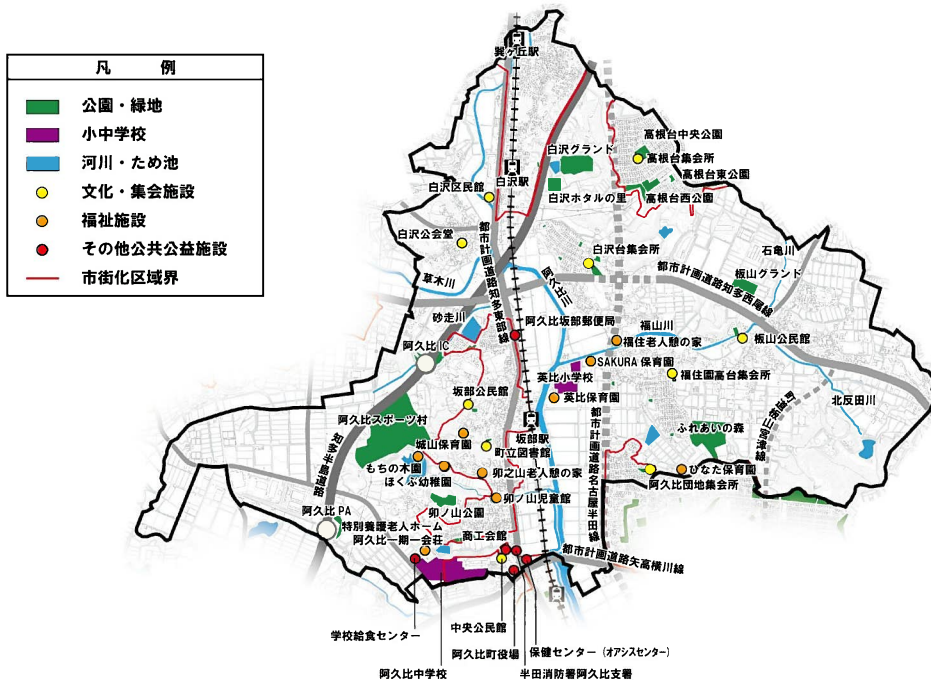
区分	凡例	市街化区域		
		面積	割合	
自然的 土地利用	農地	田	1.42 ha	1.1%
		畑	9.16 ha	7.3%
	山林	8.26 ha	6.6%	
	水面	1.84 ha	1.5%	
	その他の自然地	3.85 ha	3.1%	
都市的 土地利用	住宅用地	56.35 ha	44.9%	
	商業用地	5.42 ha	4.3%	
	工業用地	0.81 ha	0.6%	
	公的・公益用地	9.10 ha	7.2%	
	道路用地・ 交通施設用地	21.37 ha	17.0%	
	公共空地等	8.08 ha	6.4%	
総計		125.66 ha	100.0%	

※「公共空地等」には、公共空地、その他の公的施設用地、その他の空地、低未利用地が含まれる

④都市施設の整備状況／公共公益施設の立地状況

- 本地域には、名鉄河和線の坂部駅、白沢駅、巽ヶ丘駅のほか、知多半島道路阿久比インターチェンジや阿久比パーキングエリアが位置しています。
- 本地域では、都市計画道路が4路線（知多東部線、知多西尾線、名古屋半田線、草木岩滑線）指定されており、名古屋半田線は東浦町との境が未整備となっています。
- 都市公園は、4カ所（街区公園）1.84haが整備されており、一人あたりの都市公園面積は1.9㎡/人で町平均（2.3㎡/人）より少ない状況となっています。
- 本地域には、阿久比町役場や阿久比中学校、英比小学校、ほくふ幼稚園、中央公民館、町立図書館などの公共公益施設が立地するほか、阿久比スポーツ村やふれあいの森などのレクリエーション施設が立地しており、町内外から多くの人に利用されています。

<都市施設・都市機能の状況図>



⑤ 自然環境・地域資源

- ・阿久比川や福山川沿いに良好な田園風景が広がっています。
- ・東部にはハッチョウトンボなどの貴重な生き物や植物が生息する板山高根湿地があり、ボランティアによる環境保全活動が行われています。

⑥ 防災

- ・白沢地区、高根台地区、坂部地区の一部が準防火地域に指定されています。
- ・「洪水ハザードマップ」において、阿久比川・十ヶ川流域周辺が浸水想定区域に指定されています。また、「ため池ハザードマップ」において、下ノ池、馬越池、下南池、籐仙坊池・上籐仙坊池（東浦町）などの下流域が被害想定区域に指定されています。
- ・地域防災計画において、阿久比中学校、英比小学校、ふれあいの森などが避難所に指定されているほか、阿久比スポーツ村や白沢グランドなどが避難場所に指定されています。

(2) 英比地域の課題

【人口動向】

- 他地域に比べ、最も高齢化が進行している地域であることから、高根台や福住園高台周辺などの高齢化がみられる住宅団地において対策が求められます。

【土地利用動向】

- 既存住宅地や集落地において、良好な住環境の維持・保全が求められます。
- 都市計画道路知多東部線沿道の商業環境や中部工業団地の工業環境の維持・保全が求められます。

【都市施設の整備状況／公共公益施設の立地状況】

- 広域的な交通拠点である名鉄河和線巽ヶ丘駅や知多半島道路阿久比インターチェンジ周辺の機能強化が求められます。
- 都市計画道路の未整備区間の早期整備や地域ニーズを踏まえた身近な公園・緑地の確保、公共公益施設の適正な維持・管理が求められます。
- 広域的なレクリエーション拠点である阿久比スポーツ村、ふれあいの森の防災拠点としての機能強化が求められます。

【自然環境・地域資源】

- 阿久比川などの河川景観を活かしたまちづくりや、板山高根湿地などの特徴的な自然資源の保全が求められます。

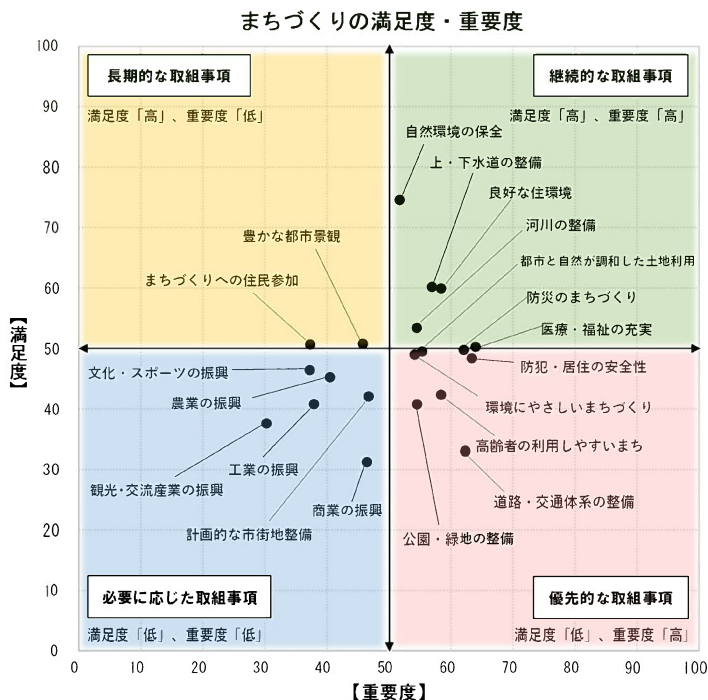
【防災】

- 河川やため池周辺において、自然災害による被害を軽減するための防災対策の推進が求められます。
- 避難所や避難場所に指定されている施設の適切な維持・管理が求められます。

(3) 英比地域の住民意向

① まちづくりの満足度・重要度

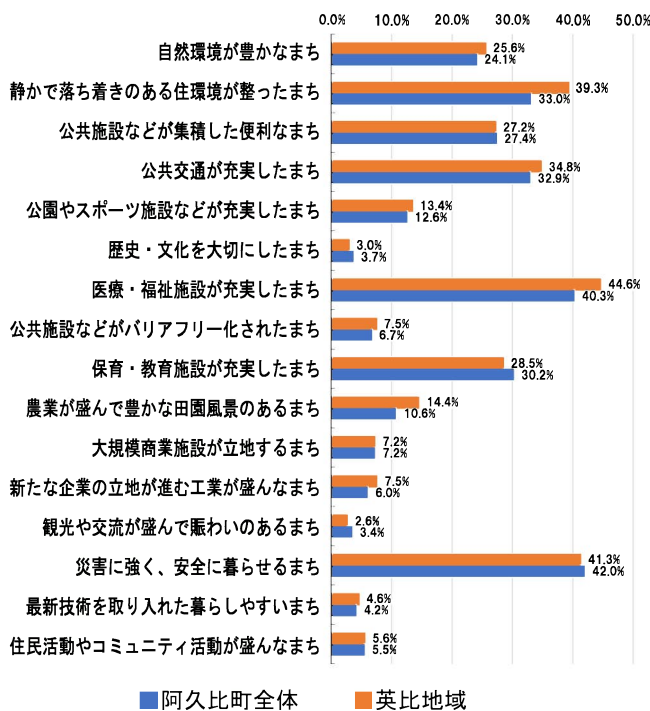
- 満足度が低く重要度が高い取組事項として、「道路・交通体系の整備」や「公園・緑地の整備」、「高齢者の利用しやすいまち」などがあげられており、道路・交通環境の充実や身近な公園・緑地の充実、高齢者が暮らしやすいまちづくりが求められています。



※「満足度」と「重要度」の回答を点数化し、平均得点を偏差値として示したのもの。

② まちの将来像

- まちの将来像として、「医療・福祉施設が充実したまち」や「災害に強く、安全に暮らせるまち」が高い割合となっており、医療・福祉施設の立地促進や河川の浸水対策などが求められています。
- 町全体と比較すると、「静かで落ち着いたある住環境が整ったまち」の割合が高く、住宅地の環境改善や質の向上が求められています。



(4) 英比地域のまちづくりの基本方針

① 既存の住宅地や集落地において安心して暮らし続けることができる地域づくり

高根台などの既存住宅地や住宅団地において、良好な居住環境の維持・保全に努めるとともに、子育て世帯や高齢者などが安心して暮らし続けることができる生活環境の形成を図ります。

② 緑のふれあい・レクリエーション拠点の機能強化により多くの人でにぎわう地域づくり

広域的なレクリエーション拠点である阿久比スポーツ村やふれあいの森などの公園機能の維持・充実を図り、多くの人々が訪れ、にぎわう地域づくりを進めます。

③ 災害に強く、安全な地域づくり

阿久比川の防災性の向上や阿久比中学校などの避難所や避難場所の適切な維持・保全、機能強化に取り組み、安全な地域環境の形成を図ります。

(5) 英比地域のまちづくりの整備方針

1) 土地利用・市街地整備に関する方針

① 住居系土地利用

- ・高根台などの住宅団地や既存住宅地では、良好な居住環境の維持・保全を図ります。
- ・白沢地区、福住地区、板山地区などの既存集落地では、周囲の自然環境と調和した良好な居住環境の保全を図ります。
- ・白沢地区及び卯坂地区における暫定用途地域については、居住環境の向上を図るため、地域住民などの意向を調整のうえ、今後の土地利用のあり方について検討を進めます。
- ・地域の活性化に資する土地利用を図るため、知多半島道路阿久比インターチェンジ周辺や阿久比町役場周辺などを市街地拡大候補地に位置づけ、実現化に向けた調査・検討を進めます。

② 商業系土地利用

- ・都市計画道路知多東部線や都市計画道路知多西尾線、都市計画道路名古屋半田線の沿道や名鉄河和線の各駅、阿久比町役場の周辺では、営農環境や居住環境との調和に配慮しつつ、生活利便性の高い生活軸として、沿道型の商業・サービス施設の立地誘導を検討します。

③ 農業系土地利用

- ・市街化調整区域の農地では、営農環境の保全・整備を図るとともに、無秩序な宅地化を抑制し、優良農地の保全を図ります。

2) 道路・交通の整備方針

- ・地域の生活交通の利便性向上を図るため、新たな南北軸となる都市計画道路名古屋半田線の整備を促進するとともに、都市計画道路知多西尾線と都市計画道路矢高横川線を結ぶ町道板山宮津線の整備検討を進めます。
- ・名鉄河和線翼ヶ丘駅周辺において、駅利用者の利便性向上を図るための環境整備について、検討を進めます。
- ・地域の高齢者など、交通弱者の日常生活を支える移動手段を確保するため、地域住民のニーズに配慮した循環バスの維持・充実を検討します。

3)公園・緑地の整備方針

- ・阿久比スポーツ村は、周辺の緑などを活かしながら、休養、スポーツ、自然とのふれあいなど、様々な余暇活動を楽しめる運動公園としての機能向上を図ります。
- ・ふれあいの森や白沢グラウンドは、広域的なレクリエーション拠点としての機能の維持・充実を図ります。
- ・既設の公園について、公園施設長寿命化計画に基づき、遊具・施設などの適正な維持・管理を図ります。
- ・白沢地区など、都市公園の整備が不足する地域において、地域住民のニーズに配慮した身近な公園・緑地の確保を検討します。

4)河川・下水道の整備方針

- ・阿久比川の河川敷を活かしたサイクリングロードの整備を促進します。
- ・市街化区域内の下水道施設の計画的な維持・更新を図るとともに、市街化調整区域において単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を図ります。

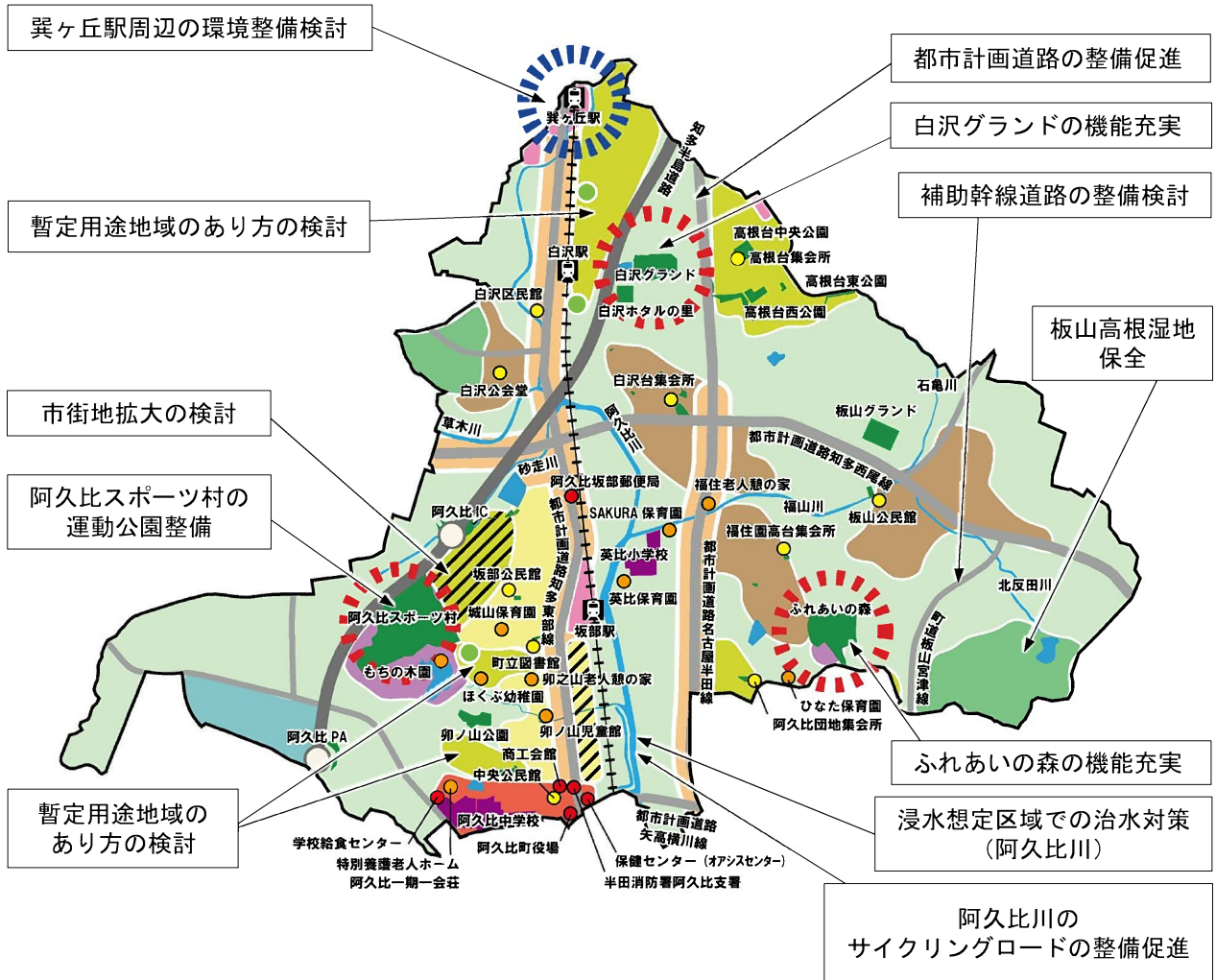
5)自然環境・景観の形成方針

- ・貴重な緑地資源である板山高根湿地について、散策道などの環境整備やボランティアによる継続的な保全活動を推進します。
- ・熊野神社、安楽寺などの社寺林については、地域に根ざした貴重な緑地資源として、地域住民との協働による保全を検討します。
- ・再生可能エネルギー発電施設などの開発は、適正な規制と誘導により抑制し、地域の自然環境や居住環境に配慮した景観の形成に努めます。
- ・ホテルの主要な生息地となっている阿久比川沿いの優良農地は、地域住民との協働のもと継続的な保全を図ります。

6)大規模自然災害に備えた安全安心な生活環境の整備方針

- ・阿久比川周辺の洪水予想エリアにおいて、防災対策の強化や防災措置の指導、農地が有する遊水・保水機能の維持・確保に向けた総合的な対策を図ります。
- ・馬越池、下南池、下ノ池、藤仙坊池・上藤仙坊池（東浦町）などのため池の被害想定区域において、水害の拡大防止に向けた周知を図ります。
- ・準防火地域に指定されている白沢地区、高根台地区、坂部地区の一部では、建物の防火性能の向上を誘導します。
- ・既存集落地内の狭あい道路の改善や空家などの解消によるオープンスペースの確保を図ります。
- ・災害時において、地震災害警戒本部となる阿久比町役場や緊急輸送基地・集積地点となる阿久比中学校、防災拠点となる阿久比スポーツ村やふれあいの森において、防災機能の適切な維持・強化を図ります。
- ・住民の防災意識の高揚を図り、地域主体の防災活動の活性化を促進します。

<英比地域のまちづくり方針図>



凡 例	
低層住居ゾーン	観光・交流・レクリエーションゾーン
一般住宅ゾーン	市街地拡大候補地
中心商業・業務ゾーン	小中学校
近隣型商業ゾーン	公園・緑地 ● 新規公園
沿道複合利用ゾーン	河川・ため池
工業ゾーン	広域的な公園・緑地の拠点
集落地ゾーン	交通拠点
農地ゾーン	文化・集會施設
自然環境ゾーン	福祉施設
	その他公共公益施設